

## 令和5年度第1回流山市史編さん審議会会議録

- 1 日時 令和5年8月4日（金）  
午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 場所 流山市立中央図書館会議室
- 3 出席者等  
（審議会委員）  
山田友治会長 村田一二副会長 相原正義委員 川根正教委員  
清藤一順委員 手塚雄太委員 笠間雄三委員 鈴木誠委員  
（事務局）  
竹内生涯学習部長 秋谷博物館長 北澤博物館次長  
小川学芸係長 伊藤学芸員 松本学芸員  
（傍聴者）  
なし
- 4 欠席者  
（審議会委員）  
高見澤美紀委員
- 5 議題
  - （1）令和4年度流山市史編さん事業報告について
  - （2）令和5年度流山市史編さん事業について
  - （3）流山市史研究第25号投稿原稿について
  - （4）その他

## 令和5年度第1回流山市史編さん審議会会議録

(小川係長)

令和5年度第1回流山市史編さん審議会を開催いたします。本日の進行を務めます、博物館学芸係長の小川です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

会議開催に先立ちまして、資料を確認させていただきます。先日送付いたしました「会議資料」のほか、本日配付いたしました「会議次第」、「座席表」です。

このほか、3月に刊行しました『恩田家文書目録(2)』、令和5年度の博物館講座予定パンフレット、4月に刊行しました『ながれやま博物館だより』第3号、北部公民館で開催中の「創立150周年 新川小学校のあゆみ」のチラシ、令和5年度『流山市の教育』、また(公財)千葉県教育振興財団が主催し、現在博物館で開催しております『流山新市街地地区の遺跡展 大地より出でし先人の足跡』のチラシ・パンフレットと3月に刊行しました『令和3年度流山市内遺跡発掘調査報告書』をお配りしております。付属資料については、ご参考にしていただきたいと思います。不足資料はありませんか。

審議会の議事は公開が義務づけられております。会議録作成のため、録音をさせていただきますので、ご了承願います。また、発言は挙手の上、議長より指名がなされてから発言をお願いいたします。

ここで本来であれば、田中教育長から皆様にご挨拶申し上げるところですが、本日は公務が重なり、欠席とさせていただきますので、代わりに生涯学習部長よりご挨拶を申し上げます。

<竹内部長挨拶>

(小川係長)

続きまして、山田会長よりご挨拶をお願いいたします。

< 山田会長挨拶 >

(小川係長)

ありがとうございました。それでは次第に沿って進めさせていただきます。流山市史編さん審議会条例第5条第3項の規定により、会議の議長は会長に務めていただく事となっております。ここからは、山田会長に進行をお願いいたします。

(山田会長)

議事進行に先立ち、事務局に出席委員数の報告を求めます。

(秋谷館長)

本日の会議に先立ちましては、委員9名のところ8名と過半数の出席をいただいておりますので、流山市史編さん審議会条例第6条第2項の規定により、会議が成立していることを申し添えます。

(山田会長)

会議成立ということですので、次第により議事を進行させていただきます。それでは、議題(1)令和4年度流山市史編さん事業報告について、事務局より説明を願います。

(北澤次長)

令和4年度流山市史編さん事業についてご報告させていただきます。古文書解読事業は寄贈・寄託された古文書や借用した古文書の解読を進め、流山の歴史を明らかにする事業です。所蔵資料29,143点のうち、令和4年度は、中村家文書47点について解読を行っております。

古文書の整理は令和4年度の『恩田家文書目録(2)』の刊行、令和6年度刊行予定の『恩田家文書目録(3)』に向けて準備を進めております。芝崎吉野家文書・古間木芳野家文書目録作成に向けての基礎整理作業、流鉄旧本社社屋内文書、大川容子家文書(旧寺田家文書)、岡本哲哉家文書の基礎整理作業を行いました。

市史啓発事業「古文書講座」は前期・後期にわけて実施しております。前期は当館の伊藤学芸員が担当して3回、後期は徳川林政史研究所非常勤研究員の吉成先生に講師をお願いいたしまして、3回実施しております。

す。参加人数につきましては、資料のとおりです。

次に『恩田家文書目録（２）』の刊行です。発行部数は２００部、規格はA4判、１９０頁で令和５年３月に刊行しました。

古文書の寄贈は令和４年６月１５日付で古間木山王社関連文書の寄贈を受けております。今後、整理を進める予定となります。

（山田会長）

ただいま、事務局からの「令和４年度流山市史編さん事業報告について」ご意見のある方はいらっしゃいますか。

恩田家文書目録の部数が２００部とありますが、全部、関係機関に寄贈する分ですか。市民には届きますか。

（北澤次長）

２００部の内訳の大半は関係機関への寄贈になります。目録の性格上、一般の方はほとんど買わないので、寄贈した分の残部を一般向けとして販売しています。

（山田会長）

２００部のうちには入っていないのですか。

（北澤次長）

入っています。

（山田会長）

目録はいくらで販売していますか。

（北澤次長）

確認次第、ご報告します。

（山田会長）

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。無いようですので、次の議題に移ります。議題（２）令和５年度流山市史編さん事業について、事務局より説明願います。

(北澤次長)

令和5年度市史編さん事業についてご報告させていただきます。古文書解読事業は昨年度と同様、寄贈・寄託された古文書や借用した古文書の解読を継続して進め、流山の歴史を明らかにするものであります。昨年度に続きまして、中村家文書の解読作業を引き続き実施します。

古文書の整理は『恩田家文書目録(3)』の刊行に向けて準備を進めてまいります。芝崎吉野家文書・古間木芳野家文書目録作成に向けた基礎整理作業及び流鉄旧本社社屋内文書の基礎整理作業を行ってまいります。

市史啓発事業では「古文書講座」を実施する予定です。昨年度と同様、前期と後期に分けまして前期は当館の学芸員が実施し、11月12日、19日、26日を予定しております。後期は外部講師を予定しております。令和6年2月の実施の予定で具体的な内容はこれから調整させていただきます。

『流山市史研究』では第25号の刊行を予定しております。令和6年3月刊行予定でA4判、300冊を印刷する予定です。『恩田家文書目録(3)』の刊行準備では、令和7年3月刊行予定でA4判、200冊の印刷を予定しております。

(山田会長)

ただいま、事務局からの「令和5年度流山市史編さん事業について」ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(村田副会長)

市史啓発事業で、前期の古文書講座の内容が市内文書から見る流山の災害となっており、今は日本も世界も大変で的を射たテーマだと思います。具体的に古文書からどのようなことを見るのか、今の段階で結構ですので、お考えを教えてください。

(松本学芸員)

鏑木家文書を取り上げ、安政の大地震の醤油蔵の被災などの資料を使って流山の被災の状況を、古文書を解読しながら、進めていく予定です。

(川根委員)

古文書の整理の中に、芝崎吉野家文書・古間木芳野家文書の基礎整理作業を進めるとありますが、芝崎吉野家の中世文書は指定などに向けて何かお考えがあったら、教えてください。

(北澤次長)

芝崎吉野家文書に関しては、寄贈を受けているのは近世資料のみとなっています。中世文書に関しましては、現在も芝崎吉野家が所有されています。文化財指定に関しては、今年度中に近世文書の指定に向けた諮問をする予定で準備を進めております。

(山田会長)

恩田家文書目録(3)を刊行予定とありますが、最終的には何巻になりますか。

(北澤次長)

次の(3)をもちまして、全て完了する流れです。完了次第、整理を進めている芝崎吉野家文書・古間木芳野家文書の目録刊行に向けて取り組んでいきます。

(山田会長)

前回まで議論いただきました市史研究の投稿規定について、ホームページで公開すると書いてありました。ホームページを開けない人にはどう対応するのかお聞きしたいです。

(北澤次長)

市史研究第25号で掲載させていただくことと、それ以外の方法は検討させていただきたいと思います。

(山田会長)

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

年度末に出版する市史研究の巻末に載りますが、それまでに知りたい人にはどうしますか。

(村田副会長)

例えば、市民などから原稿を書きたいと問い合わせがあったとします。投稿規定はどうなっているか聞かれた時に、規定はこれですと書いたものを出せるようになっていきますか。それとも、ホームページ見て下さいになってしまうのですか。

(北澤次長)

すぐに印刷することは可能です。

(村田副会長)

当然、そこで何かしらの質問が出た時に答えないといけないと思いますので、紙があった方がいいと思います。

(山田会長)

ぜひ、そうしていただきたいと思います。投稿したことがない人が本を読んで、書いていいのかわからないことにならないようによくお願いします。

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。無いようですので、次の議題に移ります。議題(3)流山市史研究第25号の投稿原稿について、3名から投稿原稿がありました。議論に入る前に事務局にお聞きしたいのですが、委員の1名が原稿を出しておられます。その時は、本人は在席するのか退席するのか、今までどうなっていますか。

(北澤次長)

まず、事務局で概要を説明して、具体的な質問をする時に事務局が答えられないことについては執筆者本人から答えていただく形によろしいですか。

<異議なし>

(山田会長)

では、これより投稿原稿に対しての検討を行いたいと思います。事務局より説明願います。

(北澤次長)

前回の会議の中で、3本の投稿原稿がありまして、その内1本は掲載不可となりました。2本目に関しては、指摘事項を修正したうえで再提出して下さいと伝えましたが、先にお渡しした原稿のように投稿規定の体裁が整っていないものが再提出されました。今お配りしたのが書式に合わせて修正したもので、会議の直前に提出がありましたので、このような形になってしまったことをご了解いただければと思います。

もう1つ、書き直したうえで掲載の有無を審議することになっていた3本目ですが、修正を依頼した通知を出して期日までに提出がなかったので、こちらについては掲載しないこととなります。今回は再提出された原稿とそれ以降に提出のあった2本の原稿の計3本で掲載についてのご審議をしていただきたいと思います。

(山田会長)

再提出された原稿は前回、手元に送っていただいたものと中身は一緒ですか。

(北澤次長)

一緒です。

(山田会長)

体裁を市史研究に合わせて直してあります。委員の皆様も目を通していただきたいと思います。

ただいま、事務局より3名からの投稿原稿について説明がありました。これより、それぞれの投稿原稿に対しての検討を行いたいと思います。なお、委員各位には自由なご意見をいただいて適正な審議を行うため、流山市情報公開条例第23条第2号の規定により、会議を非公開とします。事務局は議場を閉鎖してください。

<議場閉鎖>

3本の論文について審議し、すべての論文について修正指摘事項があった。1本は修正指摘事項が多いため、第25号の掲載を見送り、継続審議する旨、2本は指摘事項を修正して掲載をするのが適当であることで一致した。



< 議場開放 >

(山田会長)

では、次に議題(4) その他ですが、事務局から報告はありますか。

(北澤次長)

市史研究第25号につきましては、國學院大學に赤城神社の正一位関係資料の調査を依頼しております。調査報告書を第25号に掲載する予定をお願いをしています。9月末から10月頭頃に原稿を提出いただけるということになっております。次回はその内容の報告と、事務局の伊藤学芸員が流鉄関係の文書に関しての現状報告を第25号に載せる予定になっていきますので議題として挙げる予定です。

(山田会長)

事務局にお返しします。

(小川係長)

皆様には、長時間にわたりご審議いただきまして、ありがとうございました。

現在、博物館では『流山新市街地地区の遺跡展 大地より出でし先人の足跡』を開催中です。委員の皆様におかれましては、ぜひご覧いただければと思います。

以上をもちまして、令和5年度第1回流山市史編さん審議会を閉会します。お疲れ様でした。